

羽田発着枠政策コンテストに係る今後の取組について(鳥取・石見)

新たな目標値

| | 羽田＝鳥取(ANA 4→5便) 取組前(旅客数 315,153人、座席利用率 64.2%)※1 | | | | 羽田＝石見(ANA 1→2便) 取組前(旅客数 70,934人、座席利用率 58.2%)※1 | | | |
|-------------|--|---------|---------|------------------|---|---------|-----------|------------------|
| | 29年度※2 | 30年度 | 31年度 | 34年度 (再延長後5年) | 29年度※2 | 30年度 | 31年度 | 34年度 (再延長後5年) |
| 旅客数※3 | 292,724 | 380,000 | 390,000 | 410,000 | 103,303 | 140,000 | 140,000以上 | 140,000以上 |
| 座席 利用率※3 | 65.4% | 63.0% | 65.0% | 69.0% | 58.1% | 57.8% | 57.8%以上 | 57.8%以上 |

現状の課題と今後の方向性

※1 25年度実績。
 ※2 29年度については、4月～12月で集計。
 ※3 有償搭乗者のみの数値。

羽田＝鳥取

- 女性をターゲットとしたキャンペーンの実施や他空港と組み合わせた利用の促進により、首都圏からの観光誘客強化を図る
- 従来の中国・東南アジアに加え、欧米もターゲットとし、増加傾向にある訪日外国人旅行者の取込みを図る
- 圏域人口が減少傾向の中、移住促進により交流人口の増加を図る
- 利用拡大の余地がある但馬地域からの利用促進を中心に、地元需要の増加を図る
- 空港機能の充実等により「空の駅」化を図り、空港の持続的な賑わいの創出を図る

羽田＝石見

- テーマ性のある旅行商品や広域周遊を促す特典等を充実させ、個人旅行者を中心に首都圏からの誘客強化を図る
- 山口県との連携によりメディアへの露出を増やすとともに、ターゲットごとに最適な媒体で情報発信を行う等、圏域の魅力発信の強化を図る
- 首都圏滞在の訪日外国人等をターゲットとした旅行商品の造成や、海外へ向けた情報発信により、訪日外国人旅行者の取込みを図る
- 企業誘致、定住促進、都市間交流等により、外的要因に左右されない基礎需要の創出を図る
- キャンペーン等により、地元住民・企業が航空便を利用する機運の醸成を図る